

函館市財政再建推進会議 提言書（最終イメージ：抜粋）

1 行財政改革を推進するために

ここでは、今後、函館市の行財政改革推進にあたって、基本となる考え方や制度について提言をする。

（1）目標を明確にすること

（提言1）徹底した財務分析を行い、計画的な財政運営を行うこと

市の財政状況をしっかりと分析したうえで、行財政改革を進めていかなければならない。

計画の設定にあたっては、数値目標を掲げるとともに、どの年次に何をするのかといった具体的なプロセスを示すことが必要である。

《提言の実現に向けての視点》

- ・ 収支不足のないバランスのとれた財政運営となるよう具体的な数値目標を掲げること
- ・ 新たな行財政改革プランの策定に向け、人口減少や少子高齢化を見込んだ財政見通しを立てること
- ・ 行財政対策は、先送りすることなく計画的に行うこと

（2）職員の意識改革と課題認識の共有化を図ること

（提言2）市の財政状況や行財政改革の必要性などを、職員に対して説明すること

市職員の財政状況に対する認識の甘さが事業仕分けなどを通じて感じられる。行財政改革は強いリーダーシップのもと、こうした現状を職員全体で共有し、職員の意識改革を進めることが必要である。

《提言の実現に向けての視点》

- ・ 市の財政状況や行財政改革の必要性など、市長自らが、職員に説明すること
- ・ 各部局毎の時間外や予算のほか行財政改革の取り組みなどについての情報を共有する「見える化」をすすめ部局間における競争意識を高めること

（3）市民との情報共有を図ること